

## 大会名「そうじゃ言葉の力大会」について

～そうじゃ言葉の力大会実行委員会～（総社市）

### 1 事業のわらい

- ・ 学校や家庭、地域における児童の「聞く」ことの大切さを奨励しながら、「読んでもらって好きになった部分」の音読大会を開催し、言葉の力や想像する力及び読む力を育てることの大切さを認識する機会とし、児童の読書活動の推進を図る。

### 2 事業の特徴、工夫点

- ・ 大会の募集の前に、おはなしを楽しむ機会として、市図書館で「おはなし会」を開催した。「おはなし会」では、おはなしを読み聞かせるだけでなく、参加した子どもたちや保護者と一緒に、講師の指導のもと全員で朗読を行ったり、昔話の紹介なども行ったりした。
- ・ 大会募集チラシに「音読するところを選んだ訳」を記入するようにし、読み聞かせ等の体験の感想などを書き込めるようにした。
- ・ 大会では参加者やその関係者も発表者の発表を聞いてもらい、題材となる本を紹介することで物語や絵本の共有を図ることができた。



大会当日の会場

### 3 事前準備等具体的な事業の流れ

- ・ 平成 23 年 6 月 24 日（金） 第 1 回そうじゃ言葉の力大会実行委員会開催  
実行委員 8 名参加のもと、「言葉の力向上支援事業」についての説明や「そうじゃ言葉の力大会」実施までの詳細の検討を行った。
- ・ 平成 23 年 6 月 26 日（土） おはなし（朗読）会開催  
読み聞かせボランティア 2 名と図書館職員 1 名でおはなし会を行った。参加者は児童・保護者合わせて 3 4 名。読み聞かせだけでなく、参加者と一緒に朗読や、昔話の紹介なども行った
- ・ 平成 23 年 7 月 29 日（金） 第 2 回そうじゃ言葉の力大会実行委員会開催  
実行委員 8 名参加のもと、大会審査や当日の運営、前日までの準備について協議した。
- ・ 平成 23 年 9 月 2 日（金） 第 3 回そうじゃ言葉の力大会実行委員会開催  
実行委員 6 名参加のもと、事業についての総括や事業評価を行った。

### 4 言葉の力大会の様子

- ・ 平成 23 年 8 月 21 日（土）午前 9 時 30 分から市図書館で開催した。
- ・ 大会参加者は申込み 38 名のうち 34 名（低学年 17 名・中学年 13 名・高学年 4 名）
- ・ 音読発表の際、司会者が「音読するところを選んだ訳」を紹介した。聞



低学年の部

く人が読む人の思いを理解する一助となり、お話を共有することができた。

・音読発表のあと、審査員4名による審査を行い、優秀者を決定した。優秀者は13名（低学年4名・中学年5名・高学年4名）。優秀者の表彰式の後、審査員2名に審査講評をしてもらった。その後、希望者には個々への講評も行ったが、その際、審査員の前に行列ができ、その熱心さ、関心の高さに驚いた。

・審査の時間には図書館職員による読み聞かせも行った。



中学年の部

## 5 成果と今後の課題

昨年に引き続き、大会を行うことができ、また、参加者も昨年より増え、大会自体については盛況に終わることができた。参加者も、大勢の観客の前で、練習の成果を発揮することができたようで、発表後には自分に自信を持つことができ、より一層、読書の大切さを実感することができたようである。



表彰式の様子

今後の課題については、大会までの準備や当日の運営などについては、ほぼ問題はないが、来年度からは市独自で開催するにあたり運営費などの課題が考えられる。第3回実行委員会での協議では、市独自でも大会を続けていきたいということで委員全員一致したが、今後、実施方法、内容、経費等十分検討する必要がある、実施に向けて努力していくこととなった。

また、審査員からは、来年度以降、大会を開催するのであれば、今年度のように人数を定めて優秀者を決めることについては反対である、との意見があり、実行委員からも同様の意見もあり、優秀者を決めることなどについては再考すべき課題となった。

さらに、大会参加者について、低学年及び中学年については、大勢の参加申込みがあるが、高学年については、参加者が少なく、今後、事業を続けていくには、高学年の参加者を増やしていくことも大きな課題となった。



高学年の部